

森林資源を未来へつなぐ カーボンオフセットカプセルトイによる脱炭素化

取組のあらまし

取組団体 北海道南富良野町

取組内容 豊富な森林資源と J-VER を活用し、北海道ガスと連携してカプセルトイによるカーボンオフセットの仕組みを導入。町民や観光客が気軽に参加できるこの取組は、環境意識の醸成と森林整備資金の確保を実現。官民連携による持続可能なカーボンオフセットの取組として成果を上げている。

推進体制 2名（令和5年度）

1 北海道南富良野町の概要

人口	2,236人	令和7年1月1日現在（住民基本台帳人口）
職員数	80人	令和7年4月1日現在（一般行政部門）
総面積	665.54 km ²	令和7年10月1日現在（国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」）

図表 1 北海道南富良野町の位置図



出所：南富良野町ホームページ

2 取組の背景・目的

(1) 南富良野町のゼロカーボン宣言と地域資源の活用

気候変動が人類共通の課題となる現在、カーボンニュートラル社会の実現は地方自治体にとっても重要な目標である。特に、地域の自然資源を活用した環境対策は、地域振興と環境保全の両立を目指す上で有効な手段となり得る。南富良野町における「カーボンオフセットカプセルトイ」は、その代表的な取組である。

南富良野町は、2021年6月11日に北海道ガス株式会社と連携協定を締結し、道の駅を中心とした災害強靱性の向上や、森林のCO₂吸収価値のクレジット化などを通じた地域活性化に取り組んできた。また、2022年6月17日には、「南富良野町ゼロカーボンシティ宣言」を表明し、脱炭素化に向けたまちづくりを進めてきた。同町はその面積の約90%が森林で占められ、豊富な自然環境を誇っている。こうした森林のCO₂吸収力を地域内外に還元するにあたり、同町の担当課は、これまで環境保全の主体として捉えられにくかった町民や観光客にカーボンオフセットの当事者として意識させる仕組みを構築することが有効だと考えていた。

同町では、2012年に森林のCO₂吸収量をもとに「カーボン・オフセット・クレジット（J-VER）」を取得し、その活用方法を長年模索してきた。そうした中で、近年のカーボンニュートラルに対する社会的関心の高まりを背景に、同町と北海道ガス株式会社との連携協定に基づき、同社から提案を受けるかたちで、地域に根ざした新たなカーボンオフセットの形として「カプセルトイ」による仕組みが実現したものである。

カプセルトイは、町民（特に子ども）や観光客にとって親しみやすいツールであり、それを活用することで、これまで環境保全の主体として意識されにくかった人々を巻き込み、環境意識の醸成を促すとともに、森林整備のための資金調達にも資する。

町と民間企業が共に地域の課題に真摯に向き合うなかで、身の丈に合った持続可能な取組として結実した、官民連携の取組である。

3 取組内容

(1) カプセルトイの設置と運営体制

「カーボンオフセットカプセルトイ」は、2023年6月5日に南富良野町の「道の駅南ふらの（物産センター）」内に設置された。同施設は観光客の利用も多く、地域内外の人々に事業の趣旨を広く伝える場として適している。設置にあたっては、町と北海道ガス株式会社との連携体制のもと、事業運営と広報展開が図られている。

図表 2 カーボンオフセットカプセルトイ



出所：南富良野町ホームページ「全国初、「カーボンオフセット カプセルトイ」の設置について～南富良野町の森林のCO₂吸収価値で、楽しく環境保全に貢献！～」

このカプセルトイは、1回500円（税込）で利用可能であり、そのうち220円が「カーボンオフセット証明」の取得費用に、残り280円が町のイメージキャラクター「南ちゃん」関連グッズの製作・提供費に充てられる。カプセル内には、実際に南富良野町の森林によるCO₂吸収価値を証明するオフセット証明書が同封されており、購入者は自らの行動がカーボンオフセットに直接つながることを実感できる仕組みとなっている。

図表 3 カーボンオフセットの仕組み



出所：南富良野町ホームページ「全国初、「カーボンオフセット カプセルトイ」の設置について～南富良野町の森林のCO₂吸収価値で、楽しく環境保全に貢献！～」

(2) カーボンオフセットの実施と資金の使途

売上のうちオフセット分は、南富良野町内での森林整備活動や、町の林業活性化プロジェクトに再投資されている。具体的には、間伐や植林、森林環境教育などに活用されており、町全体として循環型の森林経営の一助となっている。

この仕組みにより、町は森林の持続可能な活用を図ると同時に、地域におけるCO₂吸収量を拡大し、カーボンニュートラルの実現に一歩ずつ近づいている。

（3）教育的・啓発的側面の重視

本事業は単なるカーボンオフセット活動にとどまらず、環境教育の一環としての役割も果たしている。特に、小学生をはじめとする若年層が実際にカプセルトイを利用し、自らの行動が環境保全につながるという経験を持つことで、次世代の環境意識の醸成が期待されている。また、観光客や町外からの訪問者に対しても、町の森林保全に参加するきっかけを提供することにより、南富良野町の地域ブランドの価値向上にも資するものである。

4 成果・課題

（1）取組の成果

南富良野町が実施する「カーボンオフセット カプセルトイ」事業は、地域資源を有効活用しながら、住民と観光客と一体となって環境保全と地域振興の両立を目指す先進的な試みである。本事業は、脱炭素社会の構築を地域から支える新たなモデルとして、他自治体にとっても大いに参考になる。

具体的な取組の成果は下記のとおりである。

ア 町民の環境意識の向上

カプセルトイという誰もが利用しやすいツールを用いることで、これまで環境問題に関心の薄かった層にもアプローチすることが可能となった。特に、カーボンオフセット証明書が目に見える形で手渡されることにより、抽象的だった「カーボンオフセット」の概念が具体的な行動として理解されつつある。

イ 地域経済と観光への波及効果

道の駅という観光拠点を活用することで、町外からの来訪者にもカプセルトイを通じた環境貢献の機会を提供し、町の魅力を新たな角度から発信している。

ウ 官民連携によって実現した持続可能なモデル

本取組は、北海道ガス株式会社との連携協定に基づく協働によって実現したものである。カプセルトイを活用したカーボンオフセットの仕組みは同社からの提案により生まれ、設置や広報活動を含めて民間側の支援が不可欠であった。地域に適し、持続可能性を高めた取組を構築できたのは、官民連携が培った信頼関係と役割分担の賜物である。

（2）課題

ア 購入者の属性・意識の把握の困難性

カプセルトイという匿名性の高い形式上、購入者がどのような属性を持つのか、また、どの程度「カーボンオフセット」や本事業の趣旨を理解した上で購入に至ったのかについて、体系的なデータやフィードバックが得られていない。このため、効果検証や今後の事業改善に向けた具体的な課題設定が難しい状況にある。

イ 事業実施における費用対効果と持続性の確保

今回の取組は、カプセルトイの設置や広報に至るまで北海道ガス株式会社の全面的な支援により実現したものであり、町としての直接的な費用負担は抑えられている。一方で、仮に今後、行政主体での展開を検討する場合には、導入・運営コストとその波及的効果のバランスを見極め、費用に見合う公益的価値があるかどうかを地域全体で合意形成する必要がある。

関連・参考資料

南富良野町ホームページ「全国初、「カーボンオフセット カプセルトイ」の設置について～南富良野町の森林のCO2吸収価値で、楽しく環境保全に貢献！～」

<https://www.town.minamifurano.hokkaido.jp/carbon-offset-capsuletoy/>

南富良野町・北海道ガス「全国初、「カーボンオフセット カプセルトイ」の設置について～南富良野町の森林のCO2吸収価値で、楽しく環境保全に貢献！～」

<https://www.town.minamifurano.hokkaido.jp/wp-content/uploads/2023/06/e4804c92ea9dae54919e6a4ce746882b.pdf>